

| | | | | | | |
|-----------|--|----------|----|----|------|----------------|
| 氏名 | おおくぼ 大久保 | さとし 哲 | 職名 | 教授 | 就任年月 | 2010年（平成22年）4月 |
| 【学歴】 | <p>1978年 九州大学法学部卒</p> <p>1980年 九州大学大学院法学研究科民刑事専攻修士課程修了</p> <p>1983年 九州大学大学院法学研究科民刑事専攻博士後期課程単位取得修了</p> | | | | | |
| 【取得学位】 | 法学修士 | | | | | |
| 【職歴】 | <p>九州大学法学部助手</p> <p>筑紫女学園短期大学一般教育科助教授</p> <p>久留米大学法学部教授</p> <p>琉球大学大学院法務研究科（法科大学院）教授</p> <p>神奈川大学大学院法務研究科（法科大学院）教授</p> | | | | | |
| 【専門分野】 | <p>刑事訴訟法</p> <p>刑法</p> <p>刑事政策</p> | | | | | |
| 【研究課題】 | <p>刑事弁護</p> <p>死刑制度</p> <p>犯罪加害者・被害者支援</p> <p>刑事人権論</p> | | | | | |
| 【学会・社会活動】 | <p>日本刑法学会</p> <p>九州法学会（理事）</p> <p>沖縄法政学会</p> <p>日本世間学会</p> <p>宮崎県や諸団体の外部委員及び民間諸団体の役員・構成員等</p> | | | | | |

【主な研究業績】

| 区 分 (単・共別) | 著 書 ・ 論 文 名 等 | 発行所・掲載誌・発表学会等 | 発行・発表 年 月 |
|---------------|-------------------------------------|---|--------------|
| 論 文 (単) | 刑事手続に関わるすべての人間の全方位的な人権と尊厳の保障 | 宮崎産業経営大学 法学論集 第 29 巻第 1・2 号 | 2022 年 |
| 論 文 (単) | 日本国憲法と皇室典範 — 西洋近代法思想と日本人の心性の乖離 — | 宮崎産業経営大学 研究紀要 第 32 巻第 1・2 号 | 2022 年 |
| 論 文 (単) | 刑法と報復の論理 | 内田博文先生古稀祝賀論文集 『刑事法と歴史的価値とその交錯』 | 2016 年 |
| 研究ノート | 私の天皇制 | 宮崎産業経営大学法学論集 第 24 巻第 1・2 号 | 2016 年 |
| 論 文 (単) | 報復権再論 | 新潟大学法政理論 第 45 巻第 4 号 | 2013 年 |
| 論 文 (単) | 犯罪被害者の保護と刑事手続参加 | 北九州市立大学法制論集 40 巻 4 号 | 2013 年 |
| 論 文 (単) | 報復権再考 | 『立石二六先生古稀祝賀論文集』 成文堂 | 2010 年 |
| 論 文 (単) | 刑事系第 2 問 問題と解説 「同意書面における同意の有無」 | ロースクール演習第 2 号 | 2009 年 |
| 論 文 (単) | 犯罪と刑罰 | 永尾孝雄編『現代の国家と法律』 創言社 | 2008 年 |
| 論 文 (単) | 裁判と自由 | 永尾孝雄編『現代の国家と法律』 創言社 | 2008 年 |
| 論 文 (単) | 捜査と防御 | 『刑事司法改革と刑事訴訟法 (上)』日本評論社 | 2007 年 |
| 著 書 (共) | 現代青林講義 刑事訴訟法 (第 3 版) | 青林書院 | 2006 年 |
| 論 文 (単) | 当事者主義と刑事弁護 | 『刑事実体法と手続法 —法 学博士井上正治先生追悼論集』 九大出版会 | 2003 年 |
| 論 文 (単) | 最近の求刑・量刑事情 | 『平成 12 年版日弁連研修叢書 現代法律実務の諸問題』第一法規 | 2001 年 |
| 論 文 (単) | 量刑と刑事裁判 | 『刑事・少年司法の再生梶田 英雄・守屋克彦退官記念論文集』 現代人文社 | 2000 年 |
| 論 文 (単) | 求刑・量刑と当事者の武器対等の理念 | 久留米大学法学 38 号 | 2000 年 |
| 論 文 (単) | 弁護士 100 人に聞きました — 当番弁護士の実情と本音 — | 季刊刑事弁護 21 号 | 2000 年 |